

平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 APAMAN株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大村 浩次
 (JASDAQ・コード8889)
 問 合 せ 先 管理本部副本部長 高田 雅弘
 T E L 0 3 - 3 2 3 1 - 8 0 2 0

剰余金の配当(中間(特別配当)並びに増配)に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 27 日開催の取締役会において、以下のとおり、平成 30 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当(中間(特別配当))を行うこと、並びに、平成 30 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当の増額について決議しましたので、お知らせいたします。なお、当社は、剰余金の配当に関する事項については、取締役会での決議による旨を定款にて定めております。

記

1. 配当の内容(中間(特別配当))

	決定 (平成 30 年 4 月 27 日公表)	直近の配当予想 (平成 29 年 11 月 10 日公表)	前期実績 (平成 29 年 3 月期中間配当)
基準日	平成 30 年 3 月 31 日	—	—
1 株当たり配当金	10 円 00 銭(特別配当)	—	—
配当金総額	177 百万円	—	—
効力発生日	平成 30 年 6 月 7 日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

2. 配当の内容(期末配当)

	決定 (平成 30 年 4 月 27 日公表)	直近の配当予想 (平成 29 年 11 月 10 日公表)	前期実績 (平成 29 年 9 月期期末配当)
基準日	平成 30 年 9 月 30 日	平成 30 年 9 月 30 日	平成 29 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	14 円 00 銭	12 円 00 銭	12 円 00 銭
配当金総額	249 百万円	—	213 百万円
効力発生日	—	—	平成 29 年 12 月 7 日
配当原資	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金

3. 剰余金の配当等に関する方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、業績の進展等を勘案しながら利益還元を努めることを基本方針としております。また、内部留保金につきましては、今後の事業展開に備え確保し、将来にわたる株主利益の向上に努めていく所存であります。

この度、平成 30 年 1 月 11 日付「固定資産譲渡に伴う特別利益及び法人税等の計上、借入金の返済並びに預り敷金保証金の減少に関するお知らせ」にてお知らせいたしました、不動産売却による当社単体における利益増加及び配当可能額が増加していることから、1 株当たり 10 円の特別配当を行うこと、並びに、期末の配当金を 2 円増額の 14 円の配当を行うこととしました。

これにより、中間配当金を含めた年間配当金は、1 株につき 24 円となります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	年間
当期(平成30年9月期)	10円00銭(特別配当)	14円00銭	24円00銭
前期(平成29年9月期)	0円00銭	12円00銭	12円00銭

以上